

- 1 まい子だと思っていた弟が、サービスカウンターで泣いていた。かけよってだき上げたわたしは、ほっとすると同時に、大声で名前を呼んでいた自分に気づき、少し顔が熱くなった。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの気持ちにいちばん近いものはどれ？

- ① 見つかった安心と、さわいだ自分への気恥ずかしさ
- ② 弟がにこらしい
- ③ たいくつだ
- ④ とてもねむい

こたえ

- 2 町の図書館で、いつも本を整えている司書さん。だれも見ていない棚のすみまで、ていねいに直していた。わたしは、ああいう大人になりたい、と思った。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの気持ちにいちばん近いものはどれ？

- ① その人のようになりたい、という あこがれ・尊敬
- ② 司書さんがきらいだ
- ③ たいくつだ
- ④ おなかがすいた

こたえ

- 3 苦手な算数を、放課後、先生が毎日つきあって教えてくれた。テストで初めて百点をとった日、わたしは「先生のおかげです」と言い、心の中で、次は自分の力で、とちかった。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの気持ちにいちばん近いものはどれ？

- ① 支えへの感謝と、次は自力で、という決意
- ② 算数がきらいになった
- ③ 先生がにこらしい
- ④ とてもねむい

こたえ